

「南三陸町防災土育成事業費補助金」を活用して防災士の資格を取得した

檜崎寿子さんに資格を取得したきっかけなどをお聞きました！



Q1 なぜ防災士の資格を取得しようと思われましたか。

A1 取得に至ったきっかけは主に3つあります。

- ① 以前から防災士の資格取得には興味があり、町からの補助があることを知り、引っ越しを機に思い切って挑戦しました。
- ② 伝承施設で働き始め、業務に必要な自然災害や防災に関する知識を高められることはもちろん、提供しているプログラムの中で「自分の命は自分で守る」ことや「地域での助け合いの大切さ」を呼びかけていることもあり、資格取得を目指にして先ずは自分自身が減災や防災についてしっかりと学ぶべきと思いました。
- ③ 以前、当補助金の交付を受け、防災士資格を取得された石井洋子さんが「同じ地域に一人でも多くの防災士がいると心強い。地域のために一緒に頑張ろう！」と資格取得を促してくれたことも大きかったです。

Q2 防災士の資格を取得して得たことを、どのように地域などの活動に役立てようとされていますか。

A2 活動に役立てるためには、私のような移住者は特にですが、先ずは地域や場所の特性と住民を知ることからと思います。防災士の資格取得後は、避難経路や近所の道の安全性について行政区長に尋ね家族と話したり、火災・地震保険についても職場の方に尋ねました。地域のリーダーとして、自分から動けるようになるために身近な情報を日頃から収集しておくことの重要性を今回の資格取得で再認識しました。

Q3 現在、実際に取り組まれていることがありましたらご紹介ください。

A3 知識が増えた分、災害に関するニュースや情報については、資格取得前より敏感になりました。津波が起こるメカニズム等の基本的な知識も得られたことから、接客業に携わる者として、より自信を持ってお客様への案内ができるようになりました。日々の業務にも役立っています。
また、同じ日程で防災士研修を受けた方々と情報共有をしたり、勉強会へ定期的に参加しています。

Q4 今後の目標をお聞かせください。

A4 先ずは、地道に町のこと興味を持ちながら地域について学び続けること、仕事でもプライベート（携わっている山の整備のボランティア「火防線プロジェクト」や近所の集まり）でも防災士の研修や勉強会で得た知識や情報について率先して提供することに力を入れたいです。
また、南三陸町にひとりでも多くの防災士が増えるよう周囲の方にも勧めていきたいです。